

### 定期検査中の 3 号機原子炉格納容器内における水漏れについて

3 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 11 月 19 日午前 10 時 15 分頃、原子炉圧力容器漏えい検査の準備作業において現場の確認を行っていた当社社員が、原子炉格納容器内に水溜まりを発見しました。

調査の結果、次のことがわかりました。

- ・ 事象発生当日は、主蒸気配管内および圧力容器内の水張り作業を行っており、満水状態であることを確認するために空気抜き配管にある 2 つの手動弁を全開にしていたこと。
- ・ 主蒸気配管内の満水状態の確認作業において、空気抜き配管にある電動弁を一時的に全開にしていたこと。
- ・ その後、圧力容器が満水状態であることを確認し、空気抜き配管にある 2 つの手動弁を閉めた後、現場を確認したところ、原子炉格納容器内に水溜まりを発見したこと。
- ・ 当該検査の手順書において、満水状態の確認時は 2 つの手動弁を開ける旨が記載されていたが、どの程度開くのかについては記載がなかったこと。

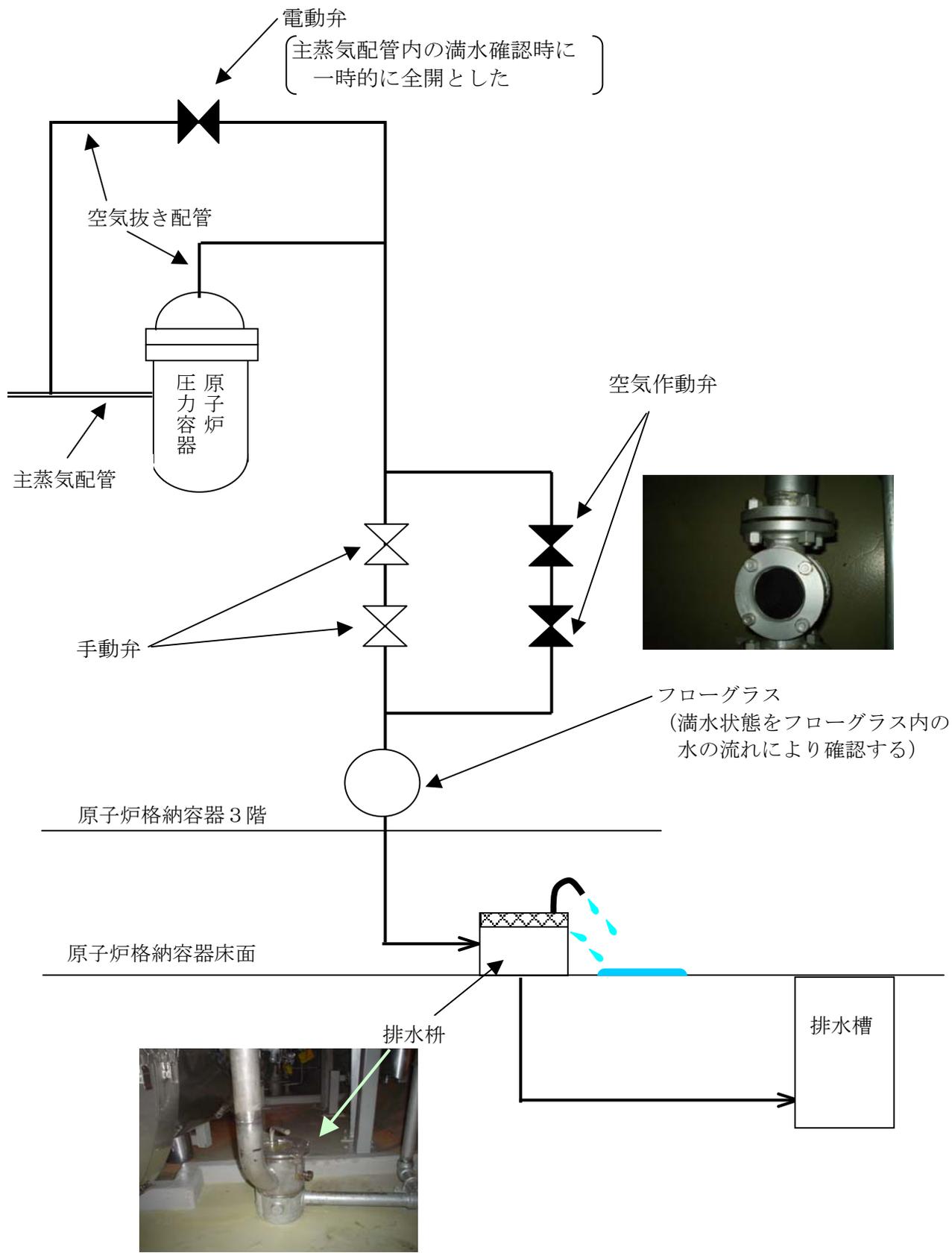
水漏れが発生した原因は、空気抜き配管にある 2 つの手動弁を全開状態としていたことから、主蒸気配管内または圧力容器内の満水状態を確認した際に空気抜き配管から多くの水が流れ出たため、排水枡から溢れたことによるものと推定しました。

対策として、今後、当該検査において満水状態を確認する際は、2 つの手動弁の一方を少し開けた状態とすることを手順書に反映します。

なお、漏えい量は約 4 リットル、放射エネルギーは約  $1.5 \times 10^6$  ベクレルであり、拭き取りにより清掃を行いました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上



3号機原子炉格納容器内における水漏れ状況概略図